

令和4年第1回定例会

(初 日)

令和4年3月2日

令和4年第1回平川市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程（第1号）令和4年3月2日（水）

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案上程及び提案理由説明
- 第5 予算特別委員会の設置及び委員長・副委員長の選任
- 第6 議案第4号 平川市副市長の選任について
- 第7 議案第5号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第6号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第7号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第8号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第9号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第10号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第11号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第12号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第13号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第14号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第15号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第16号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第17号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第18号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第19号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第20号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第21号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第22号 平川市農業委員会委員の任命について
- 議案第23号 平川市農業委員会委員の任命について
- 第8 議案第24号 平川市かわや棟条例を廃止する条例案
- 議案第25号 平川市事務分掌条例及び平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例の一部を改正する条例案
- 議案第26号 平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案
- 議案第27号 平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第28号 平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
- 議案第29号 平川市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案
- 議案第30号 平川市公民館条例及び平川市多目的集会施設条例の一部を改正する条例案
- 議案第31号 平川市都市計画法施行条例の一部を改正する条例案
- 議案第32号 平川市消防団条例の一部を改正する条例案
- 議案第33号 平川市簡易水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整

備に関する条例案

- 議案第 34 号 平川市小規模水道事業給水条例案
- 議案第 35 号 平川市過疎地域持続的発展計画の変更について
- 議案第 36 号 東部辺地総合整備計画の変更について
- 議案第 37 号 久吉辺地総合整備計画の変更について
- 議案第 38 号 財産の取得について
- 議案第 39 号 古懸地区集会所の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について
- 議案第 65 号 令和 3 年度平川市一般会計補正予算（第13号）案
- 議案第 66 号 令和 3 年度平川市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）案
- 議案第 67 号 令和 3 年度平川市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）案
- 議案第 68 号 令和 3 年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第 4 号）案
- 議案第 69 号 令和 3 年度平川市水道事業会計補正予算（第 3 号）案
- 議案第 70 号 令和 3 年度平川市尾崎財産区一般会計補正予算（第 2 号）案
- 議案第 71 号 令和 3 年度平川市町居財産区一般会計補正予算（第 3 号）案
- 議案第 72 号 令和 3 年度平川市新館財産区一般会計補正予算（第 1 号）案
- 議案第 73 号 令和 3 年度平川市沖館財産区一般会計補正予算（第 1 号）案
- 議案第 74 号 令和 3 年度平川市小杉・四ツ屋・石畑財産区一般会計補正予算（第 1 号）案
- 第 9 議案第 40 号 令和 4 年度平川市一般会計予算案
- 議案第 41 号 令和 4 年度平川市国民健康保険特別会計予算案
- 議案第 42 号 令和 4 年度平川市介護保険特別会計予算案
- 議案第 43 号 令和 4 年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案
- 議案第 44 号 令和 4 年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案
- 議案第 45 号 令和 4 年度平川市学校給食センター特別会計予算案
- 議案第 46 号 令和 4 年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案
- 議案第 47 号 令和 4 年度平川市水道事業会計予算案
- 議案第 48 号 令和 4 年度平川市下水道事業会計予算案
- 議案第 49 号 令和 4 年度平川市尾崎財産区一般会計予算案
- 議案第 50 号 令和 4 年度平川市新屋財産区一般会計予算案
- 議案第 51 号 令和 4 年度平川市町居財産区一般会計予算案
- 議案第 52 号 令和 4 年度平川市広船財産区一般会計予算案
- 議案第 53 号 令和 4 年度平川市小和森財産区一般会計予算案
- 議案第 54 号 令和 4 年度平川市大坊財産区一般会計予算案
- 議案第 55 号 令和 4 年度平川市石郷財産区一般会計予算案
- 議案第 56 号 令和 4 年度平川市柏木町財産区一般会計予算案
- 議案第 57 号 令和 4 年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案
- 議案第 58 号 令和 4 年度平川市平田森財産区一般会計予算案

- 議案第 59 号 令和 4 年度平川市新館財産区一般会計予算案
議案第 60 号 令和 4 年度平川市沖館財産区一般会計予算案
議案第 61 号 令和 4 年度平川市葛川財産区一般会計予算案
議案第 62 号 令和 4 年度平川市吹上・高畑財産区一般会計予算案
議案第 63 号 令和 4 年度平川市原田財産区一般会計予算案
議案第 64 号 令和 4 年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案
第10 請願第 1 号 りんご高密度植栽培を含むわい化栽培における資材に関する請願書
請願第 2 号 米軍基地負担の軽減と日米地位協定の見直しについての請願

○本日の会議に付した事件
議事日程に同じ

○出席議員（15名）

- 1 番 葛 西 勇 人
2 番 山 谷 洋 朗
4 番 石 田 隆 芳
5 番 工 藤 貴 弘
6 番 工 藤 秀 一
7 番 福 士 稔
8 番 長 内 秀 樹
9 番 佐 藤 保
10 番 山 田 忠 利
11 番 大 澤 敏 彦
12 番 原 田 淳
13 番 桑 田 公 憲
14 番 齋 藤 剛
15 番 工 藤 竹 雄
16 番 齋 藤 律 子

○欠席議員（1名）

- 3 番 中 畑 一二美

○地方自治法第121条による出席者

- | | |
|------------|---------|
| 市 長 | 長 尾 忠 行 |
| 副 市 長 | 古 川 洋 文 |
| 教 育 長 | 須々田 孝 聖 |
| 選挙管理委員会委員長 | 大 川 武 憲 |
| 農業委員会会長 | 今 井 龍 美 |
| 代表監査委員 | 鳴 海 和 正 |

総務部長	對馬謙二
総務部総務課長	佐藤崇
企画財政部長	西谷司
市民生活部長	一戸昭彦
健康福祉部長	工藤伸吾
尾上総合支所長	工藤敢司
経済部長	對馬一俊
建設部長	原田茂
碓ヶ関総合支所長	齋藤茂樹
教育委員会事務局長	三上裕樹
平川診療所事務長	宮川厚
会計管理者	三上庚也
農業委員会事務局長	小野生子
選挙管理委員会事務局長	今井匡己
監査委員事務局長	成田満

○出席事務局職員

事務局長	小田桐農夫吉
次長補佐	小田桐功幸
総務議事係長	河田麻子
主事	對馬賢也

○議長（桑田公憲議員） 議場内の議員、理事者並びに傍聴者の皆様に申し上げます。携帯電話、タブレット等をお持ちの方は、音の出ないような操作をお願いします。

傍聴席では、議事進行の妨げにならないように静粛をお願いします。

本定例会の開会中、報道関係者及び議会広報のため、議場内において撮影することを許可しておりますので、御了承願います。

暑い方は、上着を脱いでも結構でございます。

本定例会中、新型コロナウイルス感染予防のため、本会議場の扉を開放し、密閉空間とならないようにしております。

会議中は、常にマスクの着用をお願いします。

本定例会は、ペーパーレス化のためタブレットを利用しております。傍聴及び視聴されている方々に誤解を与えない利用形態としていただくようお願いいたします。

また、タブレット操作補助員として、議会事務局職員が議場内に待機しておりますので、操作に不具合がありましたら、挙手でお知らせいただければ、随時対応します。

3番、中畑一二美議員より、本日の会議を欠席する旨の届出がありました。

本日の出席議員は15名で、定足数に達しております。

ただいまから、令和4年第1回平川市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、9番、佐藤 保議員及び10番、山田忠利議員を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

去る2月25日、議会運営委員会を開催し、会期について協議しましたところ、配付した会期日程表(案)のとおり、会期は本日2日から22日までの21日間に決定されました。

お諮りします。

議会運営委員会の決定のとおり、本定例会の会期は、本日2日から22日までの21日間としたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日2日から22日までの21日間と決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

市長より、議案第4号から議案第74号までの計71件が提出されました。

議案等の説明のため、市長、副市長、教育長、農業委員会会長、選挙管理委員会委員長、代表監査委員、各関係部長等の出席を求めました。

監査委員より、令和3年10月分から12月分までの例月出納検査報告書、定期監査の結果報告について2件分、財政援助団体監査の結果報告について2件分の提出がありましたので御報告します。

また、令和3年第4回定例会以降の議会の諸般事項報告書、建設経済常任委員会所管

事務調査報告書、教育民生常任委員会所管事務調査報告書、議会改革特別委員会所管事務調査報告書2回分、議会運営委員会委員長より提出された、去る2月25日に開催した令和4年第2回議会運営委員会において、申し合わせしました事項についてタブレットに掲載しておりますので、御精読願います。

次に、請願第1号りんご高密度植栽培を含むわい化栽培における資材に関する請願書、請願第2号米軍基地負担の軽減と日米地位協定の見直しについての請願、陳情第1号主要地方道大鰐浪岡線道路改築事業（高畑～吹上区間）における暫定退避所整備促進等に関する陳情書、意見要望第9号ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い、意見要望第10号ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願いをタブレットに掲載しておりますので、御精読願います。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第4、議案上程及び提案理由説明に入ります。

議案第4号平川市副市長の選任についてから、議案第74号令和3年度平川市小杉・四ツ屋・石畑財産区一般会計補正予算（第1号）案までの71件を一括議題とし、市長より提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。

（市長登壇）

○市長（長尾忠行） おはようございます。令和4年第1回平川市議会定例会の開催に当たり、市政の運営方針と主要な施策の概要を申し述べます。まず初めに、先月21日の議会臨時会において、私の今期の市長就任に当たり御挨拶申し上げましたが、改めて3期目に臨む決意を述べさせていただきます。私は3期目の公約を当市の市政運営の指針となる第2次長期総合プランで掲げる3つの基本目標、「魅力あるひとづくり」、「活力あるしごとづくり」、「住み続けたいまちづくり」に沿って掲げさせていただきました。

1つ目の「魅力あるひとづくり」では、中学生までの医療費及び保育園児副食費の無料化、学校給食費無償化の継続、病児保育事業や保育体制強化事業の実施等によりさらなる子育て環境の充実を図ってまいります。また、スポーツイベントや各種教室の開催によるスポーツライフの推進、すこやか住宅支援事業や結婚新生活支援事業による移住・定住の促進、地域運営組織の運営支援や集落支援員制度の導入による地域コミュニティー活動の推進に取り組んでまいります。

2つ目の「活力あるしごとづくり」では、多様な担い手の育成と確保を図るため、ふるさと農業応援事業やスマート農業導入支援事業を継続するほか、農業収入保険制度への加入を促進し、営農意欲の維持を図ります。商店街等の活性化に向けた取組としては、平賀駅前通り及び中央公園一帯の整備、イルミネーションプロムナード事業の拡充、尾上分庁舎改修によるにぎわい創出に向け、事業に着手いたします。このほか事業者による新商品開発等を支援し、地域産業の振興を図ってまいります。

3つ目の「住み続けたいまちづくり」では、今年秋に開庁予定の新本庁舎等の防災拠点施設、消防施設の整備による災害に強い防災体制の確立のほか、防犯施設の充実を図り、安心して暮らせる防犯体制の確保に努めます。市民の健康長寿の向上やいたわりを感じる福祉の充実を目的として、子宮頸がんワクチン接種や高血圧ゼロのまちづくりモデルタウンの推進、地域が支え合う包括ケアシステムの構築に取り組みます。また、民

間住宅開発支援事業の実施、公共交通体系の維持や利用促進等を通し、便利に暮らす都市基盤を整備いたします。そして、今年度本格的に活動を実施した平川市ユース議会を引き続き実施し、地域の将来を支える若者の育成、平川市への愛着心の醸成を図り、市民参画による行政を推進いたします。今期、3期目におきましても、掲げた公約の実現に向け、粉骨砕身の思いで市政運営に取り組んでまいりますので、議員の皆様並びに市民の皆様の一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

それでは、令和4年度の市政運営に臨む所信の一端を述べさせていただきます。私は市長就任時から、基本姿勢である「対話と実行」、「透明性と発信力」、「公正・公平」を念頭に、元気な平川市をさらに前進させるべく各種施策に取り組んでまいりました。また、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症に対しましても、市民の皆様への安全・安心を第一に感染防止対策を講じながら、月ごとの毎戸配布チラシの発行や、先月開設したPCR検査センターの設置などのほか、経済を回すための仕組みづくりを進めてきました。

このような中、当市の財政状況は合併当初と比べ、健全化判断比率は改善してきているものの、依然として市税等の自主財源は乏しく、地方交付税をはじめとする依存財源に頼らざるを得ない状況であります。令和4年度の当初予算編成に当たっては、私の公約のベースであり、第2次平川市長期総合プランの3つの基本目標を重点事項の基本とし、第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる人口減少対策や地方創生に資する事業に力点を置き予算を重点配分いたしました。

歳入では、個人市民税、法人市民税などの市税について、令和3年度において試算ほどの減少は見られなかったことから、令和4年度は前年度比3.7%の増加を見込んでおります。歳出では、社会保障に係る費用などの増加に加え、新本庁舎の建設、道の駅いかりがせきや健康センターの大規模改修が予定されており、引き続き財政の健全性を確保し、効果的な財政運営を進めてまいります。また、新型コロナウイルス感染症につきましては、その収束がいまだ見通せないことから最優先項目と位置づけ、引き続き感染防止対策を講じ、国等の動向を注視しながら、経済活動の回復に向け取り組むこととしております。

ここで、令和4年度の主要施策の概要について御説明申し上げます。初めに、令和3年度補正予算と一体となって実施する新型コロナウイルス感染症対策事業であります。まず、ワクチン接種についてであります。医療機関やコールセンター設置運営等の委託料やクーポン券送付などにかかる事務費などを計上しております。経済対策の1つとして、飲食業やタクシー・代行業のほか、小売業、生活関連サービス業など市内の幅広い業種で使用できるひらかわ得トク商品券を4月から販売いたします。

次に、長期総合プランに掲げる3つの基本目標に沿って御説明申し上げます。1つ目の「魅力あるひとづくり」についてであります。私は、これまでも子育てしやすきナンバーワンのまちを目指してまいりましたが、引き続き妊娠や出産から子供が自立するまで、切れ目ない支援を行い、安心して子育てができる環境を整備してまいります。子育て世代への支援として、小・中学校の学校給食費無償化を継続するほか、保育料においては国の徴収基準を緩和した市独自の基準での保育料の設定や、国の幼児教育・保育の無償化の対象とならない副食費や就学前障がい児の児童発達支援利用時の給食費につい

での助成を継続して実施いたします。

移住・定住に向けた施策としましては、市内への移住世帯、子育て世帯、新婚世帯を対象に、住宅の新築または購入の費用の一部を助成するすこやか住宅支援事業を引き続き実施します。また、移住等のため、弘前圏域で運営する空き家・空き地バンクに登録された物件を購入された方には、30万円を加算することとしており、さらなる移住・定住の促進並びに空き家対策に取り組んでまいります。

地域運営組織への支援として、現在当市で活動している西地区まちづくり委員会及び東部地区運営委員会の2つの地域運営組織に対し、地域住民の現状や地域の実情を把握するために中核的な人材を集落支援員として委嘱し、地域運営組織、集落支援員と連携した集落対策を講じてまいります。

スポーツで元気なまちづくりの施策では、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでひらかわドリームアリーナを活用した大規模なスポーツイベントが実施できていないことから、子供たちがトップアスリートと一緒にボールを使う運動の楽しさや、技術を体験することができる、SOMPOボールゲームフェスタの開催を令和4年12月に予定しており、体力・運動能力の向上を推進してまいります。

基本目標2つ目の「活力あるしごとづくり」についてであります。当市の基幹産業である農業行政では、スマート農業技術のうち、農業用ドローン、ロボット草刈り機、アシストスーツを取り入れる農業者に対し導入費用の一部を助成し、農作業の省力化や効率化を図ってまいります。また、ふるさと納税の返礼品としても人気の高い、りんごや桃などの生産者に対し、これまで苗木購入等に要する費用の一部を助成しておりましたが、新たにかん水施設整備に係る資材購入費用を対象に加え、さらなる産地維持に向けた取組を推進します。

観光については、当市を代表するイベントである平川ねふたまつりの運行コースを、昨年よりこれまでの約600メートルから約900メートルに延長し開催することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら一昨年に続き中止となりました。今年、まつりの機運醸成のために平賀駅前の街路灯へポールフラッグを設置することとしております。まつりの運営に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染対策の徹底のほか、観覧者の安全確保や満足度向上に努めてまいりたいと考えております。

商店街等の空き店舗の解消のため実施している空き店舗対策事業補助金については引き続き実施し、これまで以上に地域商店街の活性化や地域産業の振興を図ってまいります。

基本目標3つ目の「住み続けたいまちづくり」についてであります。不妊治療への支援では、医療保険適用となる体外受精や顕微授精などの特定不妊治療について、医療保険適用後の自己負担額を全額助成し、不妊に悩む方々の経済的負担を軽減いたします。

健康づくりの推進として、日本高血圧学会の高血圧ゼロのまちを目指すモデルタウン事業への参加を予定しており、市民に対して高血圧に関する知識の啓発や血圧測定、健診の受診勧奨等を行うことで、脳卒中や心臓病等の生活習慣病の重症化を防ぎ、健康長寿の延伸を目指してまいります。

地域の公共交通については、弘南バスが導入を目指している交通系ICカード導入費

用をバス路線の沿線14市町村で協調し、乗客の利便性向上や新型コロナウイルス感染症への感染リスク回避等に努めてまいります。

市街地開発の促進では、民間宅地開発の事業者に対し、道路及び側溝の整備に要する費用の一部助成を引き続き実施し、すこやか住宅支援事業と併せ、移住・定住への対策として取り組んでまいります。

若者の活躍を推進する施策である平川市ユース議会は、今年度高校生から20代までの計26名に参加いただき、政策提案がございましたので事業を予算化しております。次世代を担う若い世代の方々が、実際にまちづくりに参画し、活躍できる環境整備を行うことで、地域の将来を支える人材育成と平川市への愛着心の醸成を図ってまいります。

施設等の老朽化対策としましては、道の駅いかりがせきの大規模改修に併せ、国土交通省との直轄一体型整備事業により道路情報館の新設工事を進め、施設環境の充実や利用者の利便性向上を図ってまいります。

新本庁舎建設事業については、一昨年より進めてきた建設工事が7月で完了し、10月にいよいよ開庁を迎えます。新本庁舎は誰でも安心して便利に使うことができる、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、利用者の負担軽減が図られるよう、住民票や税証明などの申請書を書かずに手続きができる窓口システムの導入や、市民利用の多い窓口を2階に集約しワンフロアサービスを提供することとしています。最上階には岩木山が一望できるカフェスペースを設けておりますので、交流の場として多くの方々に利用していただきたいと思っております。以上、令和4年度の施策の大要について御説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、明るいニュースが少ない一方で、先般発表された2021年人口移動報告では、当市は転入者が転出者を78人上回り、転入超過といううれしいニュースがございました。当市がこれまで取り組んできた子育て支援や移住・定住に向けた施策などの効果が、着実に成果として現れてきていると感じており、非常にうれしく思っております。今後も、平川市の地方創生に向け、市民、企業、行政が一体となり、「魅力あるひとづくり」、「活力あるしごとづくり」、「住み続けたいまちづくり」を進め、当市の将来像である「あふれる笑顔 ぐらし輝く 平川市」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでまいります。

それでは、上程いたしました各議案の概要を御説明申し上げ、御審議の参考に供したいと思っております。

議案第4号、平川市副市長の選任については、平川市副市長の古川洋文氏の任期が令和4年3月12日をもって満了となりますので、再任について議会の同意を得るため提案するものであります。氏名、古川洋文、住所、生年月日、略歴は議案記載のとおりでございます。

議案第5号から議案第23号までの平川市農業委員会委員の任命については、現在の農業委員会委員の任期が令和4年3月31日をもって満了となりますので、19名の農業委員会委員の任命について、議会の同意を得るため提案するものであります。なお、農業委員会委員の任期は、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年であります。

議案第24号、平川市かわや棟条例を廃止する条例案につきましては、道の駅いかりがせき情報提供施設の整備に伴い、平川市かわや棟を廃止するため提案するものでありま

す。

議案第25号、平川市事務分掌条例及び平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例の一部を改正する条例案につきましては、行政組織の見直しにより、部の名称及び分掌事務等を変更するため提案するものであります。

議案第26号、平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案につきましては、個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をするため提案するものであります。

議案第27号、平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案につきましては、非常勤職員及び職員の育児休業に関する規定を改正するため提案するものであります。

議案第28号、平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案につきましては、平川市国民健康保険税の未就学児に係る均等割額を減額し、その他所要の改正を行うため提案するものであります。

議案第29号、平川市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案につきましては、視覚障がいの認定基準に関する規定を改め、その他所要の改正をするため提案するものであります。

議案第30号、平川市公民館条例及び平川市多目的集会施設条例の一部を改正する条例案につきましては、古懸地区公民館を廃止し、新たに古懸地区集会所を追加するため提案するものであります。

議案第31号、平川市都市計画法施行条例の一部を改正する条例案につきましては、市街化調整区域における規制緩和区域の指定に関する規定を改めるため提案するものであります。

議案第32号、平川市消防団条例の一部を改正する条例案につきましては、消防団員の報酬及び費用弁償の規定を改めるため提案するものであります。

議案第33号、平川市簡易水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例案につきましては、簡易水道事業に地方公営企業法を適用させるため提案するものであります。

議案第34号、平川市小規模水道事業給水条例案につきましては、小規模水道事業の給水に関して必要な事項を定めるため提案するものであります。

議案第35号、平川市過疎地域持続的発展計画の変更については、新たに碓ヶ関白沢3号線道路附帯事業のほか2事業を追加し、3事業を変更するものであります。

議案第36号、東部辺地総合整備計画の変更については、新たに葛川地区集会施設建設事業のほか3事業を追加するものであります。

議案第37号、久吉辺地総合整備計画の変更については、計画に掲載した長瀬橋橋梁長寿命化事業の事業費を変更し、新たに山岸橋橋梁長寿命化事業を追加し、計画期間を令和6年度までの7年間に変更するものであります。

議案第38号、財産の取得については、ひらかわドリームアリーナ駐車場用地として土地を取得するものであります。

議案第39号、古懸地区集会所の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間については、管理の指定先を古懸町内会とし、管理の期間を令和4年4月1日から令和8年3

月31日までとするものであります。

議案第40号、令和4年度平川市一般会計予算案につきましては、歳入歳出予算の総額を202億7,000万円とするものであります。前年度比では2.7%、5億7,000万円の減となりました。新年度予算編成の考え方としては、まず1点目に、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない中、引き続き感染防止と経済活動の回復を目指すことでもあります。2点目に、第2次平川市長期総合プラン、第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に力点を置き、予算を重点配分しております。3点目に、前年度と同様に予算規模が200億円を超えることとなった主な要因であります。新本庁舎建設事業などの大型建設事業によるものであります。

それでは、当初予算の主な内容について申し上げます。まず、歳入であります。1款市税では、個人市民税・法人市民税への新型コロナウイルス感染症の影響を加味しつつ、全体では前年度比3.7%増となる23億3,251万1,000円を計上しております。

11款地方交付税のうち普通交付税につきましては、66億4,000万円を計上しております。また、特別交付税につきましては、7億円を計上し、合計で前年度比12.1%増となる73億4,000万円を計上しております。

18款寄附金では、ふるさと納税2億円を計上しております。

19款繰入金では、普通建設事業の財源として公共施設等整備基金から7億円を繰入れるほか、不足する財源調整のため、財政調整基金から5億96万6,000円を繰入れることとしております。

22款市債では、前年度比マイナス22.3%となる33億9,020万円を計上しております。

次に歳出であります。2款総務費では、前年度比マイナス12.7%の44億969万4,000円の計上となっております。このうち新本庁舎建設事業では、21億7,309万円を計上しております。また、移住・定住に向けた取組であるすこやか住宅支援事業に2,500万円を計上したほか、ユース議会からの政策提案による実施事業費として291万2,000円を計上し、メンバーが主体的に事業に取り組む計画としております。

歳出全体予算の約30%を占める3款民生費は、前年度同水準の60億3,101万9,000円を計上しております。子育てしやすきナンバーワンのまちを目指し、保育料等の軽減を継続するほか、市内保育施設に勤務する保育士等の処遇改善に係る補助金2,360万5,000円などを計上しております。

4款衛生費では、前年度同水準の12億4,718万6,000円を計上しております。医療保険適用後の自己負担額を全額助成する不妊治療費助成事業238万5,000円を計上したほか、高血圧ゼロのまちを目指すモデルタウン事業110万5,000円を計上しております。また、健康センター大規模改修事業として、令和5年度までの継続費総額8億296万2,000円を設定しております。なお、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る費用は、令和3年度補正予算に計上しており、令和4年度においても引き続き実施するため、1億2,739万2,000円を繰り越すこととして予算措置を行っております。

5款労働費では、出稼ぎ労働者支援に係る費用2万5,000円を計上しております。令和2年度及び令和3年度に、新型コロナウイルス感染症による離職者支援として計上していた雇用創出支援事業は農業現場における労働力確保支援にシフトし、農林水産業費に農業人材マッチング事業として140万4,000円を計上しております。

6款農林水産業費は、前年度比3.6%増となる9億262万6,000円を計上しました。令和3年産の米価下落を受け、農業収入保険への加入促進を図るため、保険料の助成率を拡充することとして1,855万5,000円を計上したほか、スマート農業導入支援事業では農業用ドローンの技能認定取得に係る補助金623万円を計上しております。

7款商工費は、前年度比28.2%増の11億8,050万8,000円を計上しております。道の駅いかりがせき大規模改修事業では、文化観光館の改修や道路情報館の建設費用5億9,756万3,000円を計上しております。

8款土木費では、道路や側溝の整備、橋梁補修に係る費用などを計上し、前年度比16%増の14億1,029万9,000円としております。

9款消防費は、前年度比12%増の8億8,038万6,000円を計上しております。消防屯所の老朽化に伴う改修費用として3,196万5,000円を計上したほか、消防団員の処遇改善として団員報酬の見直しを行うこととしております。

10款教育費は、前年度比マイナス24.6%の19億5,503万9,000円を計上しております。新規事業として、金田小学校改築事業8,008万5,000円などを計上しておりますが、減額となった主な理由は、令和3年度で碓ヶ関小・中学校の改築改修がおおむね完了したことに伴うものであります。また、小・中学校の学校給食費無償化を継続することとして、1億1,125万3,000円を計上しております。

12款公債費では、前年度比7.8%増となる19億8,724万4,000円を計上しております。

議案第41号、令和4年度平川市国民健康保険特別会計予算案から議案第48号、令和4年度平川市下水道事業会計予算案までの各特別会計及び企業会計予算案につきましては、それぞれの会計の事業実施に係る経費等について措置したものであります。

議案第49号、令和4年度平川市尾崎財産区一般会計予算案から議案第64号、令和4年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案までの全16件につきましては、各財産区の事業実施に係る経費等について措置したものであります。主な内容は、分収造林事業に係る除伐等の委託費であります。

議案第65号、令和3年度平川市一般会計補正予算（第13号）案につきましては、歳入歳出それぞれ2億3,584万5,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ228億2,864万6,000円とするものであります。補正の主な内容は、1点目に、国の補正予算に伴う事業を計上したこと。2点目は、平賀東中学校大規模改修事業を継続費として設定したほか、非課税世帯等臨時特別給付金事業など13事業について繰越明許費を追加したこと。3点目には、歳入歳出の各款において、事業の完了などによる事業費の精査を行ったことであります。

まず、歳入であります。主に歳出事業と連動する特定財源の事業費精査により所要の補正を行うものであります。11款地方交付税では、普通交付税の再算定により、2億3,685万5,000円を追加しております。

15款国庫支出金では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4,503万円を追加し、平賀東中学校大規模改修事業8,470万円を新規計上したほか、各種事業費の精査により、総額1億6,468万8,000円を追加しております。

16款県支出金では、農業次世代人材投資事業など各種事業費の精査により、総額493万9,000円を減額しております。

17款財産収入では、国有林の分収造林立木売却収入1,100万円など、総額2,014万8,000円を追加しております。

19款繰入金では、今回の補正における財源調整のため、財政調整基金繰入金を5,003万5,000円減額しております。

21款諸収入では、道の駅いかりがせき情報提供施設等受託事業収入など各種事業費の精査により、総額526万8,000円を減額しております。

22款市債では、国の補正予算関連事業に対応する補正予算債1億8,760万円を追加したほか、各種事業費の精査により総額1億2,558万1,000円減額しております。

次に、歳出であります。2款総務費では、弘南鉄道弘南線運行継続支援金など327万円を追加したほか、住民基本台帳システム改修事業272万8,000円を繰越明許費として設定しております。

3款民生費では、介護・訓練等給付費など総額1億1,667万4,000円を追加したほか、非課税世帯等臨時特別給付金事業2億9,322万9,000円、地域介護・福祉空間整備等施設整備事業773万円、介護施設等感染拡大防止対策事業350万円を繰越明許費として設定しております。

4款衛生費では、健康センター改修工事設計業務委託料など総額1,949万円を、5款労働費では、雇用創出支援事業補助金782万4,000円を減額しております。

6款農林水産業費では、農業次世代人材投資資金、用排水路整備工事など総額4,011万9,000円を減額したほか、年度内の完了が見込めないことから、津根川森牧野避難舎改修事業607万6,000円を繰越明許費として設定しております。

7款商工費では、インバウンド推進事業など総額1,834万4,000円を減額したほか、地域産業支援事業では、令和4年度で事業が完了する見込みとなったことから200万円の繰越明許費を設定しております。

8款土木費では、事業費の精査により総額3,316万6,000円を減額したほか、本町富岡南柳田1号橋の補修工事費1,450万円などを繰越明許費として設定しております。

10款教育費では、金田小学校改築基本・実施設計業務委託料などの事業費精査などにより、2億4,484万4,000円を追加しております。平賀東中学校大規模改修事業は、2億7,329万6,000円を新規計上した上で、令和5年度まで3億7,137万円の継続費を設定しております。

11款災害復旧費では、1,000万円を減額しております。

議案第66号、令和3年度平川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案につきましては、新型コロナウイルス感染症に対応した国庫支出金を追加するほか、特別交付金の交付額決定により県支出金を減額するものであります。歳出では、特定健診の受診実績により保健事業費を減額するものであります。

議案第67号、令和3年度平川市介護保険特別会計補正予算（第3号）案につきましては、一般会計からの低所得者保険料軽減繰入金に18万円を追加し、介護給付費について予算調整を行うものであります。

議案第68号、令和3年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第4号）案については、新型コロナウイルス関連の国・県補助金を追加するとともに、繰入金及び市債を減額するものであります。

議案第69号、令和3年度平川市水道事業会計補正予算（第3号）案については、受水費の増加に伴い収益的支出398万円を追加するものであります。

議案第70号、令和3年度平川市尾崎財産区一般会計補正予算（第2号）案から議案第74号、令和3年度平川市小杉・四ツ屋・石畑財産区一般会計補正予算（第1号）案の5件につきましては、各財産区の事業実施に係る経費等について措置したものであり、主な内容は財産売払収入や町会補助金等であります。

以上が、本日提出いたしました各議案の概要であります。細部につきましては、議事の進行に伴い、御質問に応じ、本職をはじめ、関係者からそれぞれ御説明申し上げたいと思います。

議員の皆様には、慎重御審議の上、原案どおり御議決並びに御同意を賜りますよう、お願い申し上げます。議案の説明を終わらせていただきます。

なお、訂正箇所がございます。議案第40号、令和4年度平川市一般会計予算案の説明において、9款消防費の予算額を8億8,038万6,000円と申し上げましたが、正しくは8億8,380万6,000円でありました。謹んでおわびの上訂正させていただきます。

（市長降壇）

○議長（桑田公憲議員） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

日程第5、予算特別委員会の設置及び委員長・副委員長の選任を議題とします。

本定例会に令和4年度の各会計の予算案が提出されましたので、委員会条例第6条第1項及び第2項の規定により、当予算案を審査することを目的に、16人の全議員をもって構成する予算特別委員会を設置したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、令和4年度の各会計の予算案について審査することを目的に、16人の全議員をもって構成する予算特別委員会を設置することに決定しました。

ただいま設置されました予算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、議長において16人の全議員を指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、ただいま指名しました16人の全議員を、予算特別委員会委員に選任することに決定しました。

次に、予算特別委員会委員長及び副委員長の互選方法についてお諮りします。

会議規則第126条第5項の規定に準じ、この場で議長より委員長、副委員長を指名推選することにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、予算特別委員会の委員長及び副委員長の選任方法は議長が指名推選することに決しました。

それでは、予算特別委員会の委員長に7番、福士 稔委員、副委員長に1番、葛西勇

人委員を指名推選します。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認め、委員全員の同意があったものとして、両氏を当選人とします。

予算特別委員会委員長、副委員長の就任承諾の挨拶を求めます。

初めに、福士 稔委員長、登壇願います。

(予算特別委員会委員長登壇)

○予算特別委員会委員長(福士 稔議員) ただいま予算特別委員会が設置され、議長より委員長に御指名いただきました、議席番号7番、福士 稔でございます。

さて、御承知のとおり令和4年度の当初予算案は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら経済活動の回復を目指すとともに、第2次平川市長期総合プランの将来像、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現のため、3つの基本目標を重点事項として予算が配分されております。委員の皆様には、活発な議論と慎重なる審査を、また、理事者側におかれましては、明快な答弁をお願いします。

コロナ禍での予算審議であり、限られた審査期間の中で効率的に委員会が運営されますよう、委員皆様の御理解と御協力をお願いいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

(予算特別委員会委員長降壇)

○議長(桑田公憲議員) 次に葛西勇人副委員長、登壇願います。

(予算特別委員会副委員長登壇)

○予算特別委員会副委員長(葛西勇人議員) ただいま議長より予算特別委員会副委員長に御指名を頂きました葛西勇人でございます。諸先輩議員の皆様からの御指導を仰ぎながら、微力ではございますが福士委員長を補佐し、円滑な議事進行に努めてまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。甚だ簡単ではありますが、副委員長就任の御挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

(予算特別委員会副委員長降壇)

○議長(桑田公憲議員) 次の日程は、古川副市長に関係のある案件となりますので、古川副市長の退場をお願いします。

(古川洋文副市長退場)

○議長(桑田公憲議員) 日程第6、人事案件に入ります。

議案第4号平川市副市長の選任についてを議題とします。

議案第4号は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略し、本日直ちに審議したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、議案第4号は直ちに審議することに決定しました。

去る2月25日に開催された議会運営委員会において、議案第4号は人事案件につき、質疑・討論を省略し、直ちに採決することと申し合わせされました。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、直ちに採決します。

議案第4号平川市副市長の選任について採決します。

議案第4号について、同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、議案第4号について、同意することに決定しました。

古川副市長の入場をお願いします。

(古川洋文副市長入場)

○議長(桑田公憲議員) 次の日程は、今井農業委員会会長に関係のある案件となりますので、今井農業委員会会長の退場をお願いいたします。

(今井龍美農業委員会会長退場)

○議長(桑田公憲議員) 日程第7、次の人事案件に入ります。

議案第5号から議案第23号までの平川市農業委員会委員の任命について、19件を議題とします。

議案第5号から議案第23号までは、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略し、本日直ちに審議したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、議案第5号から議案第23号までの19件は直ちに審議することに決定しました。

去る2月25日に開催された議会運営委員会において、議案第5号から議案第23号までの19件は人事案件につき、質疑・討論を省略し、直ちに一括採決することと申し合わせされました。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、直ちに一括採決します。

議案第5号から議案第23号までの平川市農業委員会委員の任命について、19件を一括採決します。

ただいまの19件について、同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、ただいまの19件は、同意することに決定しました。

今井農業委員会会長の入場をお願いします。

(今井龍美農業委員会会長入場)

○議長(桑田公憲議員) 日程第8、各常任委員会への議案付託に入ります。

提出議案目録及び委員会付託一覧表(案)について、タブレットに掲載しましたので

御参照願います。

議案第24号平川市かわや棟条例を廃止する条例案から議案第39号古懸地区集会所の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について、議案第65号令和3年度平川市一般会計補正予算（第13号）案から議案第74号令和3年度平川市小杉・四ツ屋・石畑財産区一般会計補正予算（第1号）案までの26件を一括議題とし、これより質疑に入ります。

質疑のある方は、議案番号を告げてから質疑を行ってください。

なお、発言の際は、挙手した際に議席番号を告げてください。

また、会議規則第55条の規定に「発言は、すべて簡明にするものとし、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。」とありますので、御注意ください。

御質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 質疑を終わります。

お諮りします。

議案第24号から議案第39号、議案第65号から議案第74号までの26件を委員会付託一覧表（案）のとおり、各常任委員会に付託することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、ただいまの26件は、委員会付託一覧表（案）のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託することに決定しました。

日程第9、議案第40号から議案第64号までの25件は、令和4年度各会計の予算案件であります。

お諮りします。

議案第40号から議案第64号までの25件を予算特別委員会に付託することに、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（桑田公憲議員） 異議なしと認めます。

よって、ただいまの25件は、予算特別委員会に付託することに決定しました。

日程第10、請願の付託に入ります。

初めに、請願第1号りんご高密度植栽培を含むわい化栽培における資材に関する請願書についてを議題とします。

紹介議員は、大澤敏彦議員及び長内秀樹議員です。

紹介議員に請願の趣旨説明を求めます。

8番、長内秀樹議員登壇願います。

（長内秀樹議員登壇）

○8番（長内秀樹議員） 請願第1号りんご高密度植栽培を含むわい化栽培における資材に関する請願書について、代表して趣旨説明を行います。

令和2年度の青森県りんごわい化栽培面積は、青森県りんご果樹課調べで4,947ヘクタールの24.2%の普及率となっております。わい化栽培は低位生産園の解消や、急傾斜地の平場移行など園地若返りや品種構成の適正化、省力・低コスト栽培を推進するため必須の栽培方法であり、世界のトレンドでもあります。

昭和56年7月、合併前の旧平賀町において県内で初めて青森県りんごわい化栽培研究大会が平賀町体育館で開催されました。県内はもとより、長野、山形、岩手、秋田、北海道など全国から1,800名のりんご生産者が自らの意思で集まり、未来に向けて氣勢を上げました。その後台風や雪害などの気象災害に遭遇しましたが、生産者のたゆまぬ努力と試験研究機関の技術開発、さらには海外の技術導入で日本的品質が世界の主流となる今、超高密植栽培も含めたわい化栽培が必要な時代となってきました。

一般的にりんご高密度植栽培は、スピードスプレヤーの通路部分を3メートルとし、樹間隔を1メートルとする10アール当たり333本を植栽する方法です。従来の密植栽培が4メートルに2メートルの125本からとすると、約3倍の苗木を植栽します。その苗木も台木や仕立て方の違いにより苗木育成に手間がかかることから、慢性的な苗木不足が続いています。また、苗木を補強する支柱や架線も3倍必要で、新規に園地を造成し、苗木、支柱、かん水設備など開園費が10アールあたり250万円、海外で主流の樹間隔を80センチメートルとすると10アール当たり416本植で300万円以上となっており、生産者がすぐには取り組めない大きなハードルとなっております。

半面、植栽本数を多くすることで初期投資は高額となりますが、黒石市にある青森県りんご研究所の試験結果から植栽3年目で120箱強の収穫量が見込まれるなど、早期多収と品質向上が確認され、しかも品種更新をすることから既存園の低収量や品質のばらつきなど多くの問題を一気に解決できるベストな栽培スタイルです。

農水省もこの高密度植栽培に着目し農家支援をしています。ミカンやブドウ、梨など果樹全般にわたり全国一律的な改植による果樹支援のため、りんごでは補助額の低さと規制の多さから二の足を踏む生産者も多い現状です。

一方、平川市は津軽地方においては積雪も少なく温暖なわい化栽培の適地であり、農家もフロンティア精神が高い地域です。昨年6月に他地区に先駆け、りんご密植栽培の理論と技術の研究により、農家の所得向上を目的とした平川市密植栽培研究会も設立されました。

議員の皆さん、どうぞこの状況を御理解賜り、請願第1号りんご高密度植栽培を含むわい化栽培における資材に関する請願書を満場一致で御採択いただきますようお願い申し上げます。

(長内秀樹議員降壇)

○議長(桑田公憲議員) 以上で紹介議員からの趣旨説明は終わりました。

会議規則第141条の規定により、請願第1号は、建設経済常任委員会に付託します。

次に、請願第2号米軍基地負担の軽減と日米地位協定の見直しについての請願を議題とし、紹介議員に請願の趣旨説明を求めます。

16番、齋藤律子議員、登壇願います。

(齋藤律子議員登壇)

○16番(齋藤律子議員) 16番、齋藤律子です。請願第2号米軍基地負担の軽減と日米地位協定の見直しについての請願について、紹介議員として趣旨説明を行います。

全国知事会は、一昨年11月5日、請願第2号の別添資料にもありますように日米地位協定見直しを含む米軍基地負担に関する提言を採択しました。タブレット別添資料1、米軍基地負担に関する提言を御参照ください。米軍基地は日米安保条約第6条に基づき

全国に130か所以上置かれています。三沢基地所属のF16戦闘機は、1985年に50機が配備され36年が経過していますが、これまでも模擬弾投棄や青森空港への緊急着陸など、タブレット掲載の資料2にありますように幾度となく事故を繰り返してきました。中でも昨年11月深浦町で起きた燃料タンク投棄事故は、深浦町民だけでなく訓練空域下に暮らす県民に大きな不安をもたらしました。事故調査に地元の警察、関係機関が関与することができず、日本政府は事故の原因解明ができていないということです。

全国知事会は別添資料、米軍基地負担に関する提言では航空機の安全航行を目的とする航空法をはじめ、日本の国内法を米軍にも原則適用することや事件事故時に自治体職員迅速円滑な立入りの保障などを明記するように求めています。

ドイツでは領域主権と国民の権利保護の観点から1993年、国内法の米軍への適用を強化し改定されています。イタリアの地位協定では1995年、国家法を適用し、その後ロープウェイ切断事故で死者が発生をしたことを受け1999年、訓練の許可制度、飛行規制等が締結されています。

請願項目は前述を含め5つあります。タブレットを御参照ください。時間の関係上全部の読み上げは省略しますが、特に5項目め、在日米軍における新型コロナウイルス感染症防止対策に関する項目は全国知事会の新たな危機的な提言となっています。どうか日本でもこの全国知事会の提言に基づいた米軍基地負担の軽減と日米地位協定の見直しを実現しますよう、市議会としても意見書を国及び関係機関に提出していただきますよう、紹介議員として心からお願いを申し上げます。以上、紹介議員としての趣旨説明を終わります。

(齋藤律子議員降壇)

○議長(桑田公憲議員) 以上で紹介議員からの趣旨説明は終わりました。

会議規則第141条の規定により、請願第2号は、総務企画任委員会に付託します。

次に、お諮りします。

3日及び4日は議案熟考のため、本会議を休会にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(桑田公憲議員) 異議なしと認めます。

よって、3日及び4日は本会議を休会とすることに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次の本会議は7日午前10時開議とし、その日は一般質問を予定しております。

本日はこれをもって散会します。

午前11時36分 散会

